

## 香風らしい体育祭とは

校長 石川 照子

風香り、若葉が目にあざやかな季節を迎え、いよいよ西宮香風高校の体育祭の日がやってきました。香風高校の体育祭は、皆さんがこれまで小中学校で経験してきた体育大会や多くの高校の体育祭とかなり違っていています。たとえば香風の体育祭は午後から始まりますし、開会式での行進や、組み体操やダンスのような種目もありません。

なぜ香風高校の体育祭は、こんなにもほかの学校と違っていているのでしょうか。

それは香風高校が兵庫県下初の多部制単位制高校としてスタートしたとき、「異なる時間帯で、多様な生徒が学ぶこの高校にふさわしい体育祭とはどんな体育祭だろうか」と、創立当時の先生方や生徒の皆さんが一生懸命に考えたスタイルが今の香風の体育祭に受け継がれているからです。

しかし、香風の体育祭は過去を受け継ぐだけでなく、毎年、生徒会役員を中心に内容が練り直され、不評な種目が新しい種目に代るなど進化し続けています。ですから、生徒のニーズや時代の変化に合わせて変革し続ける本校の良さが現れているのが、香風の体育祭といえます。

そんな香風らしい体育祭の仕上げは、今日ここに集う皆さんひとりひとりにかかっています。日頃、部活動などでスポーツに親しんでいる皆さんは、日々の練習やトレーニングの成果を思い切り発揮してください。体育の授業以外あまり運動していない人も、今日はクラスのみなどと一緒に体を動かしてさわやかな汗をかきましょう。また、競技に参加するだけでなく、体育祭の運営に協力したり、仲間を応援したり、自分なりの体育祭の楽しみ方を見つけてください。皆さんの一生懸命がんばる姿と笑顔をたくさん見ることができるのを楽しみにしています。